

2009年8月17日

部会長;松尾新一郎(住化ブラジル)

上期全般;

昨年同期は素材・末端ともに快進撃。従って同期比ほとんどが減少。

経済危機の影響は素材産業、中でも輸送機器(自動車・二輪車など)に関連する業種は回復していないが、消費財は影響をあまり受けていない。

下期全般;

クリスマス商戦や農繁期といった需要期にも差し掛かるし、上期の不調もあいまって売上・利益ともに増加を見込む。

## 化学部会総合

09年上期の回顧	09年下期の展望
経済危機を脱したか?	
NO 64% (9/14)	
関係なし 36% (5/14)	
売上; + 21% (3/14)	売上; + 79% (11/14)
- 71% (10/14)	+/- 21% (3/14)
+/- 7% (1/14)	- 0
利益; + 36% (5/14)	利益; + 71% (10/14)
+/- 14% (2/14)	+/- 29% (4/14)
- 50% (7/14)	- 0

### 1. 筆記具(経済危機を脱したか? No)

前期;

不景気感で売上は減少、利益は金利等もあって増加。

下期;

売上・利益ともに増加を見込む。

9月以降の売上回復を期待。(一月からの新学期向けを期待)

### 2. 写真・デジタルカメラ(経済危機の影響はあまりない)

上期;

デジカメ市場、プリント市場の引き続いての伸長などのプラス要因はあったが、値上げが

浸透しなかったり、デジカメの受給がかみ合わず、売上（7%）利益（65%）ともに減少で予測以下。

下期；

季節変動要因はあるが、売上（37%）・利益（67%）ともに増加を見込む。

ブラジル経済の強さと、カラー印画紙・デジカメ販売の引き続き伸長がプラス要因。

一方フィルム市場は相変わらず縮小、値上げの積み残しがマイナス要因。

### 3. 高級化粧品 （経済危機とは無関係）

前期；

売上（10%）・利益（9%）ともに増加で予測どおり。

富裕層を対象とした価格であることから売上への影響はほとんどなし。

新製品に頼らない既存品育成策の店頭での順調な成果。

ただ、リアル安による商品コストがアップした。

下期；

売上増加（25-30%）。利益は大幅増加を見込む。

経済危機の影響がなく堅調な売上の継続とクリスマスを期待。

R\$1.9-2.05/US\$での推移を望みたい。

### 4. 一般用医薬品 （経済危機とは無関係）

上期；

売上は増加、利益は変わらずで予測どおり。

商品カテゴリー（消炎シップ薬）市場全体が拡大している。

下期；

売上・利益ともに変わらないと見込む。

上期同様市場の拡大は見込めるが、薬事法改訂による広告宣伝に制約が課せられた。

（シップ薬の人体へ貼り付ける CM は禁止など）

### 5. 家庭防疫薬 （経済危機を脱したか？ No）

上期；

売上・利益ともに大幅減少。

南部でのラ・ニーニャ（低温・多雨）で蚊の発生が少なく、前年よりの在庫調整やジェネリック品の圧力などのマイナス要因ばかり。

下期；

季節要因による需要期で売上・利益ともに増加を見込む。

### 6. 農薬 （経済危機を脱したか？ あまり影響なし）

前期；

売上・利益ともに原体メーカーは減少、製剤・販売メーカーは増加。

原体メーカー；市場はマイナス成長（前年 70 億ドルから今年は約 10 億ドルのマイナス）ジェネリック品等との競合。農薬を多量に使う棉作面積の激減。

製剤・販売メーカー；品揃えの拡大とリアル安で好調。

下期；

売上・利益は原体メーカーは非需要期となるため減少と見込むが、製剤・販売会社は需要期となるため好調を維持（横ばい）と見込む。

#### 7. 肥料（経済危機を脱したか？ No）

上期；

売上、利益ともに減少。

国際市況の低迷による在庫の減損。価格先安感からの買い控えによる。

下期；

国際市況の下げ止まりと需要期に入り需要増により売上・利益ともに増加を見込む。

#### 8. 種子（経済危機を脱したか？ 影響なし）

上期；

売上（23%）・利益（6%）ともに増加。

東北伯向けメロン種子の販売が堅調、パパイヤ種子販売回復。

また、為替変動による価格の調整もプラス要因。

下期；

主力の玉ねぎ種子の安定販売、キャベツ種子市場のシェアアップを見込む。

為替安定による利益の確保も期待。売上・利益ともに好調を維持（変わらず）。

#### 9. 飼料添加物（経済危機を脱したか？ No）

上期；

市場価格の低迷、リアル高、輸入原価高騰により 売上・利益ともに大幅減。

下期；

世界的供給量の減少に伴い、また主飼料のとうもろこしの価格下落により、売上・利益ともに増加を見込む。

#### 10. プラスチック樹脂用着色剤（経済危機を脱したか？ No）

前期；

売上・利益ともに大幅減少で予測以下。

1-2月低調、3-5月回復傾向なるも6月で再び低調に。

背景は輸送機器向け販売の低価格問題、リアル安による輸入原料のコストアップ、競争激化による同業他社の加工賃引き下げなどマイナス要因ばかり。

下期；

輸送機器向け販売分野の値下げ圧力や引き続く経済危機の影響などのマイナス要因はあ

るものの、新規顧客の開発、適正粗利率の徹底化、人員削減によるコストダウンなどの努力とドル安による輸入原料のコストダウンなどを見込んで、売上・利益ともに微増すると見る。また債権回収への不安は残る。

1 1. 接着剤 (経済危機を脱したか? No)

上期;

売上(-20%予想通り)・利益(-10% 予測以上)。

自動車生産と大衆商品(瞬間接着剤)の好調、また工業税の減税というプラス要因はあったが、一般工業製品の販売落ち込みが大きい。2輪・電気のマナウス市場の落ち込みが大きい。電子 Invoice Substitutiucao 税の影響などマイナス要因がおおきかった。

下期;

工業税減税の減少や為替要因における輸出の減少、不良債権の増加不安はあるものの、工業生産の復調、また工業税減税継続を見込んで、売上・利益ともに若干の増加を期待。

1 2. ポリオレフィン発泡体(合成スポンジ)(経済危機は脱したか? No)

上期;

売上は減少(64%)なるも利益は大幅増(60%)で予測以上。

自動車業界の生産減少や経済危機の影響というマイナス要因で売上は減少したが、生産コストの改善や原材料費の低下があつて、増益となった。

下期;

売上は大幅増(50%)、利益は横ばいを見込む。

生産性の改善と販売数量の回復を見込む。原材料の高騰が懸念材料。

1 3. ロジン・テレピン油、製紙用サイズ剤、塗料・接着剤用樹脂(ロジン変性樹脂)  
(経済危機を脱したか? No)

上期;

売上(-10%)利益(+20%)で予測以上。

値下げ要求増加による販売価格の低下や国内市場での競合激化(国内ユーザーの取り合い)などで売上は減少したが、粗利率の上昇(原料価格の低下)により増益。

下期;

売上・利益ともに10%増を見込む。

リアル高による輸出の不振はあろうが、新製品の拡販や製紙工場操業率の上昇が見込まれる。

1 4. 商社(2社) (経済危機は脱したか? No)

上期;

売上・利益ともに減少は予測どおり。

建築・自動車向けや靴用の特殊樹脂輸入減、

アジア向け溶剤輸出減、日本向け輸出の不調、  
コモディティーの価格大幅下落と国内家電の不振とマイナス要因ばかり。

下期；

リアル高、日本向け輸出回復の見通しは立たないが、建築・自動車向けの商材の回復期待、  
コモディティーの価格回復を期待して売上・利益ともに増加を見込む。

以上